

古書にまつわる謎を解き明かすビブリアオミステリ

メディアワークス文庫

『ビブリア古書堂の事件手帖』

“「本の雑誌」が選ぶ40年のベスト40”

[第1位]に輝く!!



メディアワークス文庫『ビブリア古書堂の事件手帖』シリーズ(著/三上延 イラスト/越島はぐ)

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原眞樹)アスキー・メディアワークスでは、三上 延(みかみ・えん)著の大人気ビブリアオミステリ『ビブリア古書堂の事件手帖』シリーズを「メディアワークス文庫」より刊行しております。

このたび、『ビブリア古書堂の事件手帖』が、「本の雑誌」(<http://www.webdoku.jp/>)が選ぶ40年のベスト40の第1位に選出されました。「本の雑誌」は、創刊40周年記念号(5月11日搬入)の企画として、「本の雑誌」が選ぶ40年のノンジャンル40冊のほか、エンターテインメント、日本文学、翻訳文学、エッセイ、時代小説、国内ミステリー、海外ミステリー、SF、ノンフィクションから選んだ各40冊を合わせ、9ジャンルプラス1の40年の400冊を紹介しています。

『ビブリア古書堂の事件手帖』は、鎌倉の古書店「ビブリア古書堂」のうら若き美貌の店主・篠川葉子(しのかわ・しおりこ)と、本が読めない無骨な青年・五浦大輔(ごうら・だいすけ)が、奇妙な客が持ち込む古書の謎と秘密を解き明かしていくビブリアオミステリです。夏目漱石『それから』や太宰治『晩年』など実在の名作が登場し、古書に関する蘊蓄や背景にある人間ドラマを丁寧な筆致で綴っています。

2011年3月にシリーズ第1巻となる『ビブリア古書堂の事件手帖 ～葉子さんと奇妙な客人たち～』を発行、多くの書店員から支持を集め、人気に火がつけました。2012年本屋大賞に文庫で初めてノミネートされたほか、本の雑誌が選ぶ2011年度文庫ベストテン第1位を獲得しております。2014年12月にシリーズ最新作となる第6巻『ビブリア古書堂の事件手帖6 ～葉子さんと巡るさだめ～』を発行、2015年5月12日現在、シリーズ累計発行部数は600万部を超えております。また、コミカライズもされ、カドカワコミックス・エース、アフタヌーンKCより単行本が発売中です。

— 著者・三上 延氏より第1位選出によせて—

40年間で1位というお話に心の底から驚いています。
応援していただき誠にありがとうございます！

■メディアワークス文庫『ビブリア古書堂の事件手帖』シリーズについて

書名	定価	発売日
ビブリア古書堂の事件手帖 ～葉子さんと奇妙な客人たち～	本体590円＋税	2011年3月25日
ビブリア古書堂の事件手帖2 ～葉子さんと謎めく日常～	本体530円＋税	2011年10月25日
ビブリア古書堂の事件手帖3 ～葉子さんと消えない絆～	本体550円＋税	2012年6月23日
ビブリア古書堂の事件手帖4 ～葉子さんと二つの顔～	本体570円＋税	2013年2月22日
ビブリア古書堂の事件手帖5 ～葉子さんと繋がりの時～	本体570円＋税	2014年1月24日
ビブリア古書堂の事件手帖6 ～葉子さんと巡るさだめ～	本体570円＋税	2014年12月25日

上記すべて【著】三上 延 【イラスト】越島はぐ

【発行】株式会社KADOKAWA 【プロデュース】アスキー・メディアワークス

●『ビブリア古書堂の事件手帖』特設サイト: <http://biblia.jp>

■著者プロフィール

三上 延 (みかみ・えん)

1971年神奈川県横浜生まれ。10歳で藤沢市に転居。市立中学から鎌倉市の県立高校へ進学。藤沢市の中古レコード店で2年、古書店で3年アルバイト勤務。古書店での担当は絶版ビデオ、映画パンフレット、絶版文庫、古書マンガなど。

<ご参考>

■「メディアワークス文庫」とは

2009年12月創刊の、アスキー・メディアワークスが贈るエンターテインメント・ノベル。恋愛、ミステリー、歴史など、さまざまなジャンルの小説を刊行しています。メディアワークス文庫からは、シリーズ累計600万部を突破した『ビブリア古書堂の事件手帖』(著／三上延)のほか、『0能者ミナト』(著／葉山透、累計発行53万部)、『神様の御用人』(著／浅葉なつ、同50万部)、『探偵・日暮旅人』シリーズ(著／山口幸三郎、同40万部)などのヒット作品が生まれています。毎月25日発売。

●「メディアワークス文庫」公式サイト: <http://mwbunko.com/>

■アスキー・メディアワークスとは

アスキー・メディアワークスは、「電撃」「アスキー」「魔法のいらんど」の3つのブランドを軸に、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWA公式サイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>

●アスキー・メディアワークス 公式サイト: <http://asciimw.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA
アスキー・メディアワークス

<http://asciimw.jp/>